

医師会立

北区訪問看護ステーション

20周年を迎えて

医師会立 北区訪問看護ステーション

所長 山本 恵美

私は、平成9年（1997年）2月に医師会立北区訪問看護ステーションに就職し20年が経過しました。20年と言いましても今考えると長いようで短かった様な気がします。

平成9年3月に医師会立北区訪問看護ステーションが開設され、岡村先生始め担当理事とスタッフ3名で準備を始めました。

平成11年より看護学生の臨地自習の受け入れを始め、現在、大阪済生会中津看護専門学校と行岡医療技術看護専門学校で毎年70名程の学生を受け入れしています。平成12年2月、居宅介護支援事業所が開設し、同年4月に介護保険が始まり、7月には、訪問介護事業を開始することで、職員も増え、職員就業規

定などが整備され、組織として整ってきました。

平成24年、大阪府転退院調整・在宅医療円滑化ネットワーク事業、平成26年、大阪府在宅医療連携拠点支援事業、平成27年、大阪府在宅医療推進事業が開始となり、在宅医療コーディネーター活動を行うことで、病院との連携がしやすくなりました。平成28年、大阪市在宅医療・介護連携推進事業として、北区医師会に事務所を設置し、2名の在宅医療・介護連携支援コーディネーターとして日々、対応しています。現在、訪問看護師…7名（医療コーディネーター2名含む）、ヘルパー…5名、ケアマネジャー…2名、事務員…2名の16名と大きくなりました。北区内の訪問看護ステーションも4ステーションだったのが、今では、23ステーション（平成30年2月現在）と増え、訪問看護の質が重要となっています。今後も、30年、40年と続けられるように、北区医師会の『理念』を忘れず、保健・医療・福祉について、地域の皆様が安心して健康な生活を送ることができるよう、北区医師会の一端として、医師会立北区訪問看護ステーションスタッフ一同頑張りたいと思いますので、先生方のご支援をお願いいたします。